

歯の衛生週間に寄せて

桐生市歯科医師会

—1—

今年も6月4日から「歯の衛生週間」が始まります。歯科と聞くと、むし歯と歯周病と、思われがちですが、近年、お口の中や歯が原因の病気が、体全体と強く連動していることが分かってきました。

例えば、糖尿病と歯周病の関係です。糖尿病が悪くなると、歯周病が悪くなり、さらに病状を悪化させます。きちんと歯をみがき、お口の管理をすると糖尿病も良くなるという結果が出て、歯周病は6番目の糖尿病合併症と認定されました。

これに加えて、口腔ケアとい

う考え方が広まり始めています。高齢者や介護が必要な方の歯や口の中をきれいにし、入れ歯を調整すると、誤嚥（ごえん）性肺炎が

減少し、食欲が出たり、認知症が改善されたり、体力が付いて歩

きはじめると、永く歯に生え替わりながら14、15歳で奥歯まで生えそ

ろいますが、発育に必

要な栄養は「お口」からしか取れません。食

べることの大切さは、

いうまでもなく、きれいな歯と笑顔はその人の財産です。

からだの健康はお口から



桐生市歯科医師会
塩崎泰雄会長

「明眸皓齒（めいぼうこうし）」。すずやかな目と真っ白な歯で、たのしく充実した生活を送るためにも、子ども

ものころから歯を大切に

にする生活習慣が必要です。

歯の衛生週間は、ご自分やご家族の健康を

考えるよい機会です。

「お口からはじまるからだの健康」をお試

ください。

このコーナーは5回

シリーズで、歯周病の

話、定期検診の大切

さ、フッ化物の話、歯

並びの話、マウスガー

ドの話と続きます。

また、今週はFM桐

生でも毎朝7時ごろと

夜7時ごろに各10分ほ

どですが、「ためにな

る歯のはなし」の放送

をします。

6月5、6日はJR

桐生駅北口、桐生市保

健福祉会館へ、「あな

たのお口健康度」をた

しかめるためにも、せ

ひお出かけください。